



全教北九州

新聞 全教北九州
全教北九州市教職員組合
発行責任者 中川喜久子
2024年1月25日

全教北九州

検索

24春闘 特集

この新聞はすべての教職員に配布しています

学校を働きがいのある人間らしい仕事の場にしよう

労働環境と待遇の改善はゆずれない

全教北九州は、「働きがいのある人間らしい仕事」の推進・実現を目指し運動しています。長時間労働の是正や同一労働同一賃金・非正規雇用の待遇改善により、心身ともに健康に働ける職場の実現、誰もが安定した生活を送るのに十分な収入の保障を求めることは労働者の権利です。

全教北九州は、今年の春闘でも、教職員が安心して長く働き続けられる労働の実現、十分な収入の保障を求め教育委員会との交渉に臨みます。

5%以上の賃上げは絶対にゆずれない

今年度の給与改定で、若い教職員には差額が10万円もたさそうです。この間差額をもらって「うれしい」と実感したことがない若い教職員にとって、今回の差額は期待以上だったのではないのでしょうか。

連合は、来年度の統一要求の賃上げ目標を物価上昇の高止まりを踏まえ「5%以上」と、今春闘の「5%程度」より表現を強めました。また、政府も、物価高を上回る賃上げ実現のため、昨年全国平均で時給1000円を超えた最低賃金を2030年代半ばまでに1500円に引き上げるとしていますが、目標が遠すぎ現実味がありません。民間企業では、今春闘において社員を確保するためベースアップや初任給の大幅な引上げ競争をしています。教育行政は、民間への人の流れを止めるためにも、すべての教職員が賃上げのメリットを共有、実感できるようにすることが必要です。持続的な賃上げを

現のため、今春闘での5%以上の賃上げはその一歩です。

教職員が納得できる賃金、労働環境の改善は必要不可欠！

文科省から昨年末の教員採用試験の状況が公表されました。文科省や自治体は、長時間過密労働など労働環境の悪さが原因とみて働き方改革を進めましたが、未だ十分な成果はなく、「教員不人気に歯止めがかからない」現状が改めて注目される結果となりました。市教委も交渉の席で、働き方改革の推進の成果を強調してはいますが、多くの教職員の間では労働環境改善の実感はありません。

また、教職員の労働の対価としての賃金が、労働の持続可能には必要不可欠です。全教北九州は人事委員会勧告に縛られない賃上げを要求します。教職員に労働の対価としての賃金が支払われていないことも教員不人気の原因ですが、働き方改革推進とともに教職員が納得・実感できる待遇改善をこれからも要求していきます。

「業務改善のための行動目標」をこの学校でも実現を

市教委は、今年度「学校における業務改善プログラム(第3版)」を発表しました。ここでは今後3年間の業務改善のための行動目標も示されています。そこに「目標達成のための具体的取組」が記載されていますが、現時点で多くの項目で未達成、未実施です。

また今年度は、管理職の意識の問題ですが、改善しようとする職場がある一方、これまでのやり方を踏襲している職場もあります。すべての職場で、業務改善の確実な実施を求めます。

全教北九州は、労働環境改善による魅力ある職場の実現や労働実態、専門職としての教職員の十分な対価を求めるとともに、安心して働き続ける労働環境を実現するための運動をこれからも続けます。

「学校における業務改善プログラム(第3版)」に沿って、職場での改善を進めましょう！

- ▼学期末の成績付の時間確保
- ▼年間授業時数の見直し
- ▼校時表の見直し
- ▼繁忙期の校時割見直し(下校時間早める)
- ▼通知表の所見欄・年一回
- ▼学校・保護者間の連絡等のオンライン化
- ▼児童生徒の最終下校時刻の設定
- ▼二学期制 など

北九州の戦争遺跡

小倉兵器製造所 (小倉北区)

「大阪砲兵工廠門司兵器製造所」は、1912年の火災で一部を消失しました。復旧工事が決まったものの、敷地が狭く第一次世界大戦による需要に足りなかったため、小倉への移転が決定。小倉宮所東側の紫川河川敷(小倉北区役所から小倉北消防署付近)を整理し、16年に「大阪砲兵工廠小倉兵器製造所」が開所しました。

20年、現在の西小倉駅を起点に清水小学校付近まで日豊本線と並走する引込線が完成しました。同年、従業員への診療と福利増進を目的とする「財団法人大阪砲兵工廠従業員翼賛会」が設立され、構内に支部が設置されました。翼賛会設立は、19年の大阪砲兵工廠従業員1万人以上が参加したストライキとその後に設立された労働組合向上会「に対応する意味もあつたと考えられます」。

27年、関東大震災で壊滅した「陸軍造兵廠東京工廠」の小倉移転が決定し、33年小倉兵器製造所は「陸軍造兵廠小倉工廠」と合併しました。

集まれば元気語り合えば勇氣愚痴も磨けば要求に

女性部 フラワーアレンジメント講座 (12/24) 新春学習交流会 (1/13)

全教北九州女性部は、「フラワーアレンジメント講座」と「女性部新春学習交流会」を開催しました。女性部はおしゃべりを大切に楽しく元気に活動しています。

12月24日(日)、「フラワーアレンジメント講座」を開催しました。事務所近くの花屋さん



に講師をお願いし、2回目の今回は、迎春用です。花を挿す順番、バランスの取り方などアド



バイスをもらいながら、個性豊かにアレンジメントしていきま

がら、合間には各学校で話し合

全教事務職員部の文部科学省交渉に全教北九州も参加

23年11月24日、全教(全日本教職員組合)事務職員部は文部科学省との交渉を行いました。全教北九州からは事務職員部長

が参加しました。交渉に先立ち、「無償教育の実現と学校事務職員の定数・待遇改善を求める署名」を提出し、

直接要請を行いました。交渉では、物価高騰があり年度中

主な要求項目
①「働き方改革」を口実とした事務職員の業務負担増や「学校事務の共同実施」の押し付け排除。
②学校事務職員の給与等の改善。
③物価高騰をふまえた学校予算の確保の働きかけ。

力を合わせて生きる意味を考える

第23回全国障害児学級&学校学習交流集会in愛知

1月6日(土)7日(日)、愛知県で、第23回全国障害児学級&学校学習交流集会が開催され(参加者550名)、北九州からも3名が参加しました。オープニング行事では、手話ロックバンド「BRIGHTEYES super-duper」が登場。1989年、愛知県立名古屋聾学校の生徒を中心に結成。「聞こえなくても音楽は楽しむことができる!」



をモットーに名古屋を中心に全国各地で活動し、結成35年を迎えたバンドです。「どうやってリズムを取っているんだろう。でも、すごい!」と、参加者は感動で涙を抑えることができなかったそうです。障害があっても自己表現ができる。多様性を認め合いたいと強く思ったオープニングでした。

国障害児学級&学校学習交流集会in愛知



記念講演は、竹沢清さん(元愛知県ろう学校教員)による「子どもの悩み・ねがいに合わせて、私たちは教師になって実践と運動を通して語る!」でした。参加者は、「子どもを育てながら親になっていくように、一瞬一瞬の子どもたちとの交流を大事に通じて教師として成長し続けていこうと思った。この集會に参加して、自分がとても優しくなり、新学期の子どもの再会を待たずしくなりました。」と感想を寄せてくれました。
2日目は、てんこ盛り講座(10講座)、文化ハザール、フィールドワーク、基礎講座ほか17の分科会が開催され、充実した2日間となりました。